202404KeMCo

View Report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

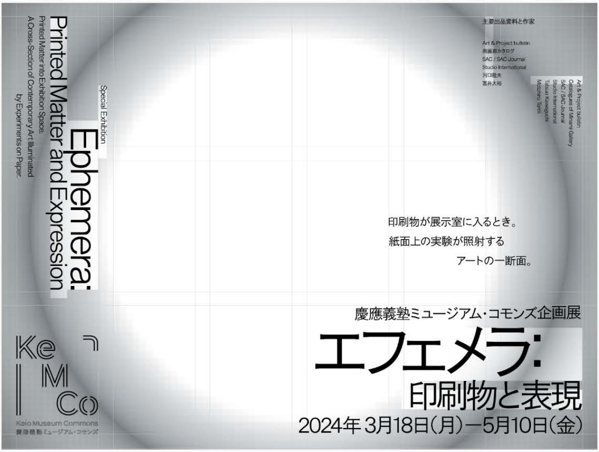
Ke
M
Co

撮影：村松桂（カロワークス）

「エフェメラ：印刷物と表現」展が3月18日（月）より開催中です。
本日は18：30より、慶應義塾アート・センター　久保仁志氏によるトークを開催致します。出品のご協力をいただいた「エフェメラの住み処」の住人（！）による解説を聞ける貴重な機会です。ぜひご参加ください。

KeMCoの近況

【開催中】「エフェメラ：印刷物と表現」


Special Exhibition
Ephemera:
Printed Matter and Expression
Printed Matter into Exhibition Space.
A Cross-Section of Contemporary Art Illuminated
by Experiments on Paper.
主要出品資料と作家
Art & Project bulletin
南画廊カタログ
SAC / SAC Journal
Studio International
河口龍夫
冨井大裕
Art & Project bulletin
Catalogues of Minami Gallery
SAC / SAC Journal
Studio International
Tatsuo Kawaguchi
Motohiro Tomii
印刷物が展示室に入るとき。
紙面上の実験が照射する
アートの一断面。
慶應義塾ミュージアム・コモンズ企画展
エフェメラ：
印刷物と表現
2024年 3月18日（月）ー5月10日（金）
KeMCo
Keio Museum Commons
慶應義塾ミュージアム・コモンズ

慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）では、展覧会「エフェメラ：印刷物と表現」を開催中です。
多岐に渡る「エフェメラ」と呼ばれるアイテムの中から、ポスターやパンフレットなど展覧会やアート・イベントに合わせてつくられ、社会に広がるメディアとしての機能をもった印刷物エフェメラに焦点を当てご紹介します。特に、大学研究所のアーカイヴや図書館に所管された資料から、戦後美術において情報の伝達と実験的な表現の重なりが見られるアイテムをご紹介します。また、印刷物／エフェメラに関心を寄せる現代作家による二人展（河口龍夫・冨井大裕）も同時に開催いたします。

「エフェメラ：印刷物と表現」

会期｜2024年3月18日（月）–5月10日（金）［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜4月20日（土）
臨時休館｜4月30日（火）–5月2日（木）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
共催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、特定非営利活動法人 Japan Cultural Research Institute
協力｜慶應義塾大学アート・センター
出品協力｜東京国立近代美術館アートライブラリ

エフェメラ：印刷物と表現

住み処の住人トーク&アーティストトーク　開催決定！

撮影：村松桂（カロワークス）

開催中の展覧会「エフェメラ：印刷物と表現」の関連イベントとして、エフェメラの「住み処」として出品協力をいただいた文化機関よりご登壇いただく「住み処の住人トーク」と、展覧会出品作家の河口龍夫氏と冨井大裕氏それぞれによる「アーティストトーク」を開催致します。

住み処の住人トーク【本日開催！】
久保仁志（慶應義塾大学アート・センター）｜4月4日（木）18:30–
草月アートセンター、南画廊の資料が普段、所蔵・寄託の形で収められている慶應義塾大学アート・センターは、アーカイヴと展示スペースをもった慶應義塾大学の芸術研究所です。
トークでは、アート・センターのアーキヴィストをお招きして、草月アートセンター資料の話を中心にお話いただきます。
⇒ご予約はこちら（先着順、定員目安：25名程度）

アーティストトーク
河口龍夫｜「長生きしたカゲロウ」　4月11日（木）18:00–
冨井大裕｜「経験をみること」　4月20日（土）15:00–
両日とも　聞き手：渡部葉子（慶應義塾大学アート・センター／KeMCo）
⇒ご予約はこちら

【おすすめ展覧会】「Published by KUAC ── 出版物でたどる慶應義塾大学アート・センターの30年」

「エフェメラ：印刷物と表現」に出品協力をいただいた慶應義塾大学アート・センターで

も、出版物をテーマにした展覧会を開催中です。ぜひご来場ください。

2023年10月に開設30年を迎えた慶應義塾大学アート・センターの軌跡を、これまでに発行してきた出版物で振り返ります。

出版物は発行する組織の公共化（パブリック化）の手段と考えることもできます。出版物をもって何をどのような形で、伝え、残そうとするのか、その方法や在り方に自ずと発行元の姿勢や思想が現れてくると言えるでしょう。アート・センターでは、30年変わらず発行されている媒体――年報、ARTLET(ニューズレター)、 Booklet(特集型叢書)――もあれば、様々な形で時に応じて制作された出版物もあります。加えて展示室を備えてからの展覧会関連のカタログなど、多くの出版物を発行してきました。

このような出版の実績とその変化を展示することによって、アート・センターの30年の軌跡をたどるとともに、これからについても展望します。

「Published by KUAC –– 出版物でたどる慶應義塾大学アート・センターの30年」

会期｜2024年3月4日（月）－4月26日（金）［土日祝休館］11：00〜18：00
会場｜慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館1階アート・スペース）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾大学アート・センター

Published by KUAC

展示室より、推しモノ #27

現在、KeMCoでは「エフェメラ：印刷物と表現」展を開催しています。「エフェメラ」という言葉は聞き慣れない言葉かもしれません。美術館の世界でも用いられる様になったのは2000年以降と言ってよいでしょう。チラシや案内状、チケット、会場配布物など、無料あるいは安価で配布され、有効期間の限られている「はかない」印刷物を指します。エフェメラは「蜻蛉」の意味もあります。蜻蛉は1日だけの命の正にはかない昆虫です。つまり、そこでは時限性があるということが大きなファクターとなっている訳です。しかしながら、その時限性、はななさの故に、そこには「その時」が色濃く刻印されることにな

Feedback

ります。そして、その時限性の魅力が感じられるのは印刷物なればこそ、と言うことがあるのも事実です。デザインやレイアウトなどにも勿論時代性が反映してはいますが、紙の質感や用いられている印刷技術、そこにあるモノのもつ時間性がはかない印刷物なればこそ、ハッキリと感じられ、見る人に訴えかけてきます。
KeMCoと姉妹施設とも言うべきアート・センターでも印刷物にまつわる展覧会「Published by KUAC——出版物でたどる慶應義塾大学アート・センターの30年」を開催しています。展覧会や各種催事にまつわる印刷物がところ狭しと並んでいます。ここでもその多くは時限性のある印刷物です。それ故に30年の時の流れをたどることが可能となっているのです。両展示で印刷物に宿る時間を感じとっていただければ幸いです。
そして、もう一つ、エフェメラ展は「印刷物と表現」という副題を掲げています。印刷物にも勿論、表現があるのですが、もう一歩進んで、2人の作家（河口龍夫・冨井大裕）の手を通して創造的な活動が展開されています。身近な印刷物が別の様相を示しながら舞台に立つ姿もお楽しみください。

渡部 葉子（KeMCo副機構長、慶應義塾大学アート・センター教授/キュレーター）

空き地

エフェメラ
USAMI
YASUDA

撮影：村松桂（カロワークス）

学生学芸スタッフ(KeMiCo)の笹本亜実です。2023年9月から大学院修了までの約半年間、新春展「龍の翔ける空き地」や現在開催中の「エフェメラ：印刷物と表現」展の準備に携わりました。私は大学生の頃に学芸員資格を取得しましたが、コロナ禍により一部の実習がオンライン化され、当時は歯がゆい思いをしました。しかし、KeMiCoとして展示作業に関わる機会に恵まれ、その気持ちを昇華させることができました。現場で様々なご指導をいただいた学芸の先生方に心から感謝申し上げます。KeMCoのスタッフとして展覧会準備に携わり、実際にお客様が作品を鑑賞される様子を見たときの達成感は得難いものでした。展示とは観てくださる方がいて初めて成立するものだと再認識しました。
さて、現在開催中の展覧会はArt & Project bulletin、SAC Journal が全号展示される貴重な機会です。会場入口では、作品のページがめくられていくショートムービーをご覧いただけます。展示室で実物を手に取ることができない代わりに、エフェメラの魅力ーー紙の質感や色合い、形状などをご紹介するため、KeMiCo三名が協力して制作しました。ぜひご

注目ください！

笹本 亜実（KeMiCo）

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

Published by KUAC ── 出版物でたどる慶應義塾大学アート・センターの30年
3月4日（月）〜**4月26日（金）**
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

Japan in Books ー蔵書のなかの日本ー
4月15日（月）〜6月15日（土）
会場｜慶應義塾図書館1階展示室

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2024*年*5*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2024 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>

why did I get this? unsubscribe from this list update subscription preferences

慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan